RIDA スクリーン FAST アフラトキシン

【商品コード:4161PF】

厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課長通知
「トウモロコシ中の総アフラトキシンの試験法について」
（平成 23 年 8 月 16 日食安監発 0816 第 7 号）準拠

穀物および飼料中のアフラトキシンの定量分析のための競合酵素免疫測定法

アフラトキシンは、カビの一種である糸状菌類 *Aspergillus parasiticus* および *nomius* が産生する極めて毒性の高い代謝産物です。これらの真菌は多湿の熱帯地域で発生し、耕作可能な諸国の植物性食品に汚染を引き起こします。アフラトキシンは、天然に発生する最も強力な発ガン物質です。アフラトキシン B1 は、最も有毒で重要性が高く、一般的にアフラトキシン B2、G1 および G2 と共存します。主に、トウモロコシ、綿実 およびナッツ類で発見されます。EU 諸国では、これらのカビ毒の毒性によって、アフラトキシン B1 で 2ppb、および総アフラトキシンとして 4ppb の規制があります。日本では、食品中の総アフラトキシンが 10ppb を超えて検出すると食品衛生法第 6 条第 2 号違反となります。
本試験法は、コーン、小麦、大麦、燕麦およびピーナッツをマトリックスとして妥当性が検証されています。

規格及び試験方法

・フォーマット:

48 ウェル（8ウェルストリップ×6本）のマイクロタイタープレート

・標準液:

0、1.7、5、15、45 μg/kg（ppb）

・試料調製:

破砕、メタノール/水による抽出および濾過、希釈

・インキュベーション時間:

15 分

・検出限界（LOD）:

＜1.7 μg/kg（ppb）

関連製品:

・EASI-EXTRACT アフラトキシン【50 本入:4165P、10 本入:4164P】
・アフラプレップ【4162P】
・アフラトキシンクリーンアップカラム【4173P】
・Trilogy　PuriTox　多機能カラム【TC-M160】
・RIDA スクリーン　アフラトキシン B1 【4115P】
・RIDA スクリーン　アフラトキシン　トータル【4161P】
・RIDA スクリーン　FAST アフラトキシン SC【4168PF】
・RIDA　Quick　アフラトキシン【4161PQ】
・RIDA　Quick　アフラトキシン RQS【R5205】※RIDA Quick スキャンセット【ZG5005-0】

★取扱説明書、試料調製、その他　資料ご希望の方は、ご遠慮なくアヅマックス㈱にお申し出ください。

r-biopharm
アヅマックス株式会社
http://www.azmax.co.jp/
E-mail : sales@azmax.co.jp

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

東京営業所　〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630　Fax 03-5543-0312

RIDA スクリーン FAST アフラトキシン

【商品コード：4161PF】

抽出、濾過と試験の手順

（注 ： ストリップ 4 本以上を一度に使用しないでください。）

① 破砕した試料 5g を量り採り、25 mL の 70%メタノール液を加え、
3 分間激しく振とう。
試料抽出液をろ過。
得られた濾液 1mL に蒸留水 1mL を加えて希釈。

② 1ウェル当たり希釈済の濾液 50μL を使う。

③ 試験するのに十分な数の標準および試料用のウェルをフレームに挿入。

④ 標準液および調製された試料液各 50μL を
それぞれ別のウェルにピペットで滴下。
各標準液および試料液で別々の新しいピペットチップを使用。

⑤ 酵素複合体液（赤キャップ）を各ウェルに 50μL 加える。

⑥ アフラトキシン抗体液（黒キャップ）を各ウェルに 50μL 加える。
10 分間、室温でインキュベート。

⑦ ウェル中の液体を捨て、マイクロタイターストリップをフレームに入れたまま吸水紙
（ペーパータオルなど）に 3 回連続して叩きつけ、ウェルの液体をよく除く。
すべてのウェルに 250μL の洗浄バッファーを満たし、同様に液体を捨て、
吸水紙に叩きつけ液体を除く。この操作を2回以上繰り返す。

⑧ 基質/色原体（茶色キャップ）を各ウェルに 100μL 加える。
5分間、室温(暗所)でインキュベート。

⑨ 反応停止液（黄色キャップ） を各ウェルに 100μL 加える。
よく混合して、エアーブランクで 450 nm の吸光度を測定。

r-biopharm
アヅマックス株式会社
http://www.azmax.co.jp/
E-mail : sales@azmax.co.jp

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご覧頂き、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意下さい。なお、価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。

東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-10-7 Tel 03-5543-1630 Fax 03-5543-0312